

南山大学人類学博物館

# 年 報

2021 年度

南山大学人類学博物館

## 巻頭言

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まってから2年が経過した。まだ、感染状況が完全に終息したわけではないが、一部を除いて世界全体がコロナとの共生の方向に動き始めている。博物館・美術館も注意しながらも、コロナ以前の状況に近い開館状況になってきている。予断は許さないが、うれしい兆候であることは間違いない。

しかし、われわれにとっては、コロナ禍で何を学んだかがこれから問われてくる。ここで完全にコロナ以前に戻すことを目指すとすれば、それはあまりに無反省なことと言われるであろう。この機会こそ、博物館の在り方を問い直すタイミングと捉えるべきである。

そんな時、文化庁より令和4年4月15日付の「博物館法の一部を改正する法律の公布について」という通知が来た。博物館法改正については、日本学術会議や日本博物館協会等で議論されていたが、ここにきて改正が成立したとのことである。ただし、学術会議や博物館協会の提言が今回の法改正に十分な形で反映されているわけではない。

今回の改正については、多くの関係者がその要点と問題を指摘しているが、簡単にまとめれば2つで、主眼は博物館の登録制度、もう一つは文化観光への積極的な活用である。前者については、国立博物館が今回も登録制度の対象とならなかったことがあり、小手先の改正という感が否めない。また、登録することのメリットも明らかではなく、しばらくは静観が続くのではないかと思われる。

後者については、以前より政府の方針として博物館・美術館を観光に活かすことが考えられていたが、博物館の基本的性格と観光事業・観光政策との整合性が等閑視されてきたため、必ずしも政府の考えている通りに進んでいるわけではない。

欧米の博物館・美術館を見ると確かに観光客（外国人も含め）が多く、賑わいも大きい。だが、それはもともと博物館・美術館として魅力があるから人が行くのであって、観光施設としてあるから行くのではない。そこを掃き違い得ているところに根本的な問題がある。

肝要なことは、博物館の魅力をどう向上させるか、ということに尽きる。その文脈においてこそ、登録制度の改革（あるいは学術会議の提言にあるような認証制度の採用）に実質的な意味が出てくるはずではないだろうか。

2019年のICOM京都大会では、博物館の定義が採択見送りとなったが、このことは博物館の存在意義そのものの揺らぎを示しているのだろう。果たして日本の博物館法改正が、世界水準といえるものなのだろうか。

2022年 5月  
南山大学人類学博物館

## 目次

1. 2021年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	1
①museum notes 配信	1
②博物館実習生による展示<WEB配信>	1
③明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業	1
④フィールドワーク	1
⑤博物館講座	2
⑥名古屋大学博物館連携講座	2
⑦博物館実習（他大学より受入）	2
⑧南山中学・高等学校男子部でのサテライト展示	3
⑨インターンシップ受入	3
(2) 調査・研究活動	3
(3) 資料の収集・整備と利用	3
①受贈資料	3
②燻蒸の実施	3
③購入図書	3
④受贈図書数	4
⑤資料貸出	4
⑥取材・調査	4
⑦撮影・他機関刊行物等への掲載	5
(4) 出版活動	6
(5) 施設整備	6
2. 組織と運営	
(1) 組織	6
(2) 開館・入館者実績	7
3. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	7
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	8
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	10
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	10

## 1. 2021年度の人類学博物館の活動

2021年度は新型コロナウイルス感染の影響を受け、展示室利用は南山大学の学生および教職員のみとなったが、オンラインで参加可能な講座などは一般の方の参加も多数あった。

### (1) 教育普及活動

#### ①「museum notes」配信

新館報として、人類学博物館の資料を人類学博物館WEBページ「活動紹介」に掲載

- ・Vol.4 2021年 6月 1日（火）～ 執筆者：加藤大智（南山大学大学院）  
岡 智康（南山大学大学院）
- ・Vol.5 2021年10月 1日（金）～ 執筆者：井原瑠梨（人類学博物館学芸員）  
秦優莉香（人類学博物館学芸員）
- ・Vol.6 2022年 2月 1日（火）～ 執筆者：秦優莉香（人類学博物館学芸員）  
井原瑠梨（人類学博物館学芸員）

#### ②博物館実習生による展示< WEB配信>

- ・「学芸員のおすすめのイッピン展」 2021年 9月 1日（水）～
- ・「博物館実習生によるウェブ企画展」 2022年 1月 7日（金）～

#### ③明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業

##### ◆オンライン交換展示

- ・期 間：2021年9月30日（土）～11月8日（月）
- ・開催方法：両館のWEBページ上で、お互いの資料を紹介する
- ・テ ー マ：明治大学博物館配信「錦絵に描かれた捕者道具」  
南山大学人類学博物館配信  
「民族誌資料に見るタカラガイの利用のかたち」

##### ◆在校生向け特別講義

- ・南山大学生向け：5月21日（金）Zoom利用  
講義担当 外山徹（明治大学博物館）
- ・明治大学生向け：11月26日（金）明治大学にて  
講義担当 黒澤浩（南山大学人文学部教授）

#### ④フィールドワーク

「西三河の遺跡を巡る」と題し、計3回開催。

- ◆第1回 11月14日（日）刈谷市歴史博物館と本刈谷貝塚を探訪  
現地講師：鵜飼堅証（刈谷市歴史博物館）  
参加者：11名
- ◆第2回 11月28日（日）西尾市吉良町の古墳巡り  
現地講師：三田敦司（西尾市教育委員会）  
参加者：12名
- ◆第3回 12月 5日（日）安城市桜井古墳群を巡る  
現地講師：後藤麻里絵、石原奈緒子（安城市教育委員会）  
参加者：12名

⑤博物館講座

テーマ：「世界の考古学2」

今年度は、Zoom ウェビナーを利用したライブ配信で開催した。各回 14:00～

参加費（4回一括）：一般2000円 南山大学生無料

◆第1回 6月5日（土）「オセアニア航海民の海と宇宙」

講師：後藤明(南山大学人文学部教授) 視聴者 61名

◆第2回 6月12日（土）「アンデス古代国家の考古学」

講師：渡部森哉(南山大学人文学部教授) 視聴者 66名

◆第3回 6月19日（土）「中国初期王朝誕生の考古学」

講師：西江清高(南山大学人文学部教授) 視聴者 57名

◆第4回 6月26日（土）「ホモ・サピエンスの起源とヨルダン砂漠の岩陰遺跡」

講師：門脇誠二(名古屋大学大学院環境学研究科講師)  
視聴者 56名

⑥名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類の歴史」

2016年度より開始した名古屋大学博物館と連携した連続講座。博物館資料を使いながら、両大学の研究者が解説。

今年度はZoom ウェビナーを利用したライブ配信で開催した。

参加費無料および申し込み不要。

◆第1回 10月2日（土）～「最古のビーズとホモ・サピエンス」

講師：門脇誠二（名古屋大学博物館） 視聴者 108名

◆第2回 10月16日（土）～①「3Dでのぞく縄文時代のいのり」

講師：岡智康（南山大学人間文化研究科人類学専攻）

②「マコンデ彫刻をめぐる芸術人類学の視点から」

講師：井原瑠梨（南山大学人類学博物館）

視聴者 106名

◆第3回 11月6日（土）～「コンクリーションが記憶する地球の歴史」

講師：村宮悠介（名古屋大学大学院環境学研究科）

視聴者 98名

◆第4回 11月20日（土）～「普段着と晴れ着

—中国雲南省ミャオ族（モン）の装いの実践」

講師：宮脇千絵（南山大学人類学研究所） 視聴者 73名

⑦博物館実習（他大学より受入）

◆申込大学：愛知学院大学(2名)

◆期 間：2021年6月7日(月)、9日(水)、11日(金)、14日(月)、16日(水)、18日(金)  
計6日間 各日10:00-16:30

◆実施内容：展示作成、資料梱包・開梱、燻蒸準備業務、資料整理等

◆実施場所：人類学博物館展示室

⑧南山中学・高等学校男子部でのサテライト展示

- ◆2021年 4月28日（水）～ 7月29日（木） 石斧、石器、縄文土器、弥生土器、  
灰釉陶器、埴輪など考古資料
- ◆2021年 7月29日（木）～12月22日（水） 皇朝十二銭、寛永通宝など貨幣資料
- ◆2021年12月22日（水）～2022年4月27日（水） 飯盒、黒電話など昭和の生活資料

⑨インターンシップ受入

同朋高校2年生 1名

期 間：7月28日（水）～7月30日（金）

依頼元：NPO法人アスクネット

(2) 調査・研究活動

ユニバーサル・ミュージアム研究会（UM研）東海例会開催

- ◆第1回 10月 5日（火）18時～ Zoom開催 参加者14名
- ◆第2回 12月13日（月）18時～ Zoom開催 参加者12名
- ◆第3回 3月15日（火）18時～ Zoom開催 参加者14名

11/15（月）国立民族学博物館 特別展

「ユニバーサル・ミュージアムーさわる！“触”の大博覧会」見学

参加者：人類学博物館担当教員、学芸員、人類学博物館ボランティアスタッフ

(3) 資料の収集・整備と利用

① 受贈資料

酒井登巳子氏より

- (1) インドネシア スンバ島で作られたイカット、シルクの布 計 109 枚
- (2) インドネシアの木製腰掛 兼 物入 1 点
- (3) インドネシアの楽器 1 点
- (4) 木製の器、鉄器 4 点
- (5) シルクの衣類 6 着

② 燻蒸の実施

○施設燻蒸G棟

5月12日（水） 施工前昆虫トラップ配置

5月30日（日） 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置

6月13日（日） 施工後昆虫トラップ回収

○施設燻蒸R棟

5月30日（日） 施工前昆虫トラップ配置

6月13日（日） 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置

7月 2日（金） 施工後昆虫トラップ回収

③ 購入図書

10冊

④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
1,515	450	268

⑤ 資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
南山大学経済学部 林順子	日本の通貨 文政丁銀 計1点	2021年 4月14日～ 4月15日	「日本経済史入門」オンライン 授業にて学生に紹介
公益財団法人 千葉県教育振興財団	二ツ木向台貝塚出土 縄文土器 計4点	2021年 5月17日～ 2022年 3月3日	①令和3年度出土遺物公開事業 「らくがく縄文館」にて展示 ②写真撮影後3Dモデルの作成 ③撮影した写真を①にかかる印 刷物（チラシなど）に掲載
愛知県美術館	ひすいの儀礼用官杖など 計82点	2021年 7月6日～ 10月6日	「ジブリの大博覧会～ジブリパ ーク開園まであと1年。～」で の展示
南山大学大学院 湯屋秀捷	林魁一関連資料 画仙紙、筆、卓墨など 計6種類	2021年 7月21日～ 9月1日	資料研究および紀要原稿執筆
名古屋大学大学院 廣瀬允人	根方岩陰遺跡出土資料 計30袋	2021年 9月28日～ 10月29日	研究および資料整理

⑥ 取材・調査

来館者名	資料名	実施日
南山大学大学院 岡智康	西北タイ民族誌資料	2021年5月20日 ～5月31日
南山大学人文学部 中尾央	鉄製甲冑・石製品	2021年6月29日
名古屋市博物館 川合剛	日吉遺跡出土資料	2021年7月27日 ～12月8日
南山大学大学院 加藤大智	根方岩陰遺跡出土資料	2021年9月1日 ～12月20日

南山大学大学院 吉田真優	保美貝塚の石錐	2021年11月10日 ～11月11日
南山大学人文学部 上峯篤史	縄文土器（入海貝塚、姥山貝塚、二ツ木貝塚、堀之内貝塚、衣岩岩陰、武芸八幡遺跡、野島貝塚）	2022年3月16日

### ⑦撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
マガジンハウス ポパイ	館内写真 2点	ウェブサイトPOPEYE Web	2021年5月
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 1点	塾用教材 「定期テスト対策プログラム」	2021年 7月2日
南山大学大学院 岡智康	塩屋金神社遺跡出土資料 石棒13点他 計18点	SEEA発表資料 (PowerPoint)	2021年 6月26日
株式会社 ネクストレベル	昭和の生活資料 ユーミエン族の評皇券牒など 計7点	ウェブサイト「縁結び大学」	2021年 9月22日
株式会社 テイクイット	館内写真 1点	ウェブサイト 「どえりゃ～名古屋」	2021年10月
名古屋市教育委員会 文化財保護室 深谷淳	白山藪古墳出土資料 および実測図 計12点	学位論文 「尾張の古墳造営集団とヤマト王権」	2021年11月
株式会社 国書刊行会	二ツ木向台遺跡出土土器 流山貝塚出土加曾利E式土器 花輪台貝塚出土土偶	書籍『今、見に行く 1000 の縄文土器と土偶、それから石器』	2022年 3月25日
南山大学大学院 加藤大智	館内全体写真および 根方岩陰 02-05	「考古学セミナー あいちの考古学」発表資料	2021 12月12日
国立民族学博物館 八木百合子	友枝啓泰アンデス民族学画 コレクション 4枚	Etnografía Andina-recorrido y valoración cultural Senri Ethnological Studies の スペイン語論集	2022年5月
豊田市 郷土資料館	西志賀遺跡出土遠賀川式土器	令和3年度豊田市郷土資料館特別展「はじめてのとよた史」展示図録	2022年 1月22日

有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器	塾用問題集 『さなる式 歴史Ⅰ』	2022年 3月3日
南山大学大学院 加藤大智	根方岩陰遺跡出土資料 4点	「考古学セミナー あいちの考古学」発表資料のスライド	2021年 12月12日
有限会社 uphoriafactory	あか汲み カヌーの舳先彫刻	『TRANSIT 世界の海特集』	2022年 3月16日
文化財映像サービス 岡安雅彦	保美貝塚出土サヌカイト	Youtube チャンネル	2022年 3月5日

#### (4) 出版活

- ・『南山大学人類学博物館紀要』第40号
- ・『南山大学人類学博物館年報』2020年度 (Web掲載)
- ・『明治大学博物館+南山大学人類学博物館 合同シンポジウム報告書2019-2020』

#### (5) 施設整備

G棟人類学博物館収蔵資料室の改修・整備を行った。

- ◆2021年5月16日(日)～18日(火) 第三展示室 中量棚設置
- ◆2022年2月28日(月) 第一、第二展示室壁面ショーケース解体、撤去
- ◆2022年3月2日(水) 第二展示室カーペット貼替
- ◆2022年3月5日(土) 第二展示室中量棚設置

## 2. 組織と運営

### (1) 組織

#### 1) 職員

館長	奥田隆明	(副学長/経営学部教授)
担当教員	黒澤浩	(人文学部教授)
学芸員	秦優莉香	(特別嘱託職員)
	井原瑠梨	(特別嘱託職員)
事務員	中村奈々恵	(専任嘱託職員)
	武本美和子	(臨時職員)

#### 2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤浩	(人文学部教授)
委員	谷口佳津宏	(人文学部教授)
	渡部森哉	(人文学部教授)
	上峯篤史	(人文学部准教授)
	宮脇千絵	(人文学部准教授)
	友松順一	(学事第二課長)
事務局	学事第二課	(人類学博物館)

### 3) 資料評価委員会

委員長	渡部森哉 (人文学部教授)
委員	上峯篤史 (人文学部准教授)
	宮脇千絵 (人文学部准教授)
事務局	学事第二課 (人類学博物館)

## (2) 開館・入館者実績

2021年度もウイルス感染の影響により、南山大学生および教職員のみ利用可能となったが、大学オープンキャンパス、入試課等主催の高校生キャンパスツアーは再開され、見学受け入れを行った。

開館日数	入館者(個人)	団体(外部)	授業利用
241	604人	102人	のべ704人

## 3. 規程

### (1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館(以下「博物館」という。)を置く。

② 博物館は、「人類学(文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。)」(以下「人類学」という。)に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長(研究推進担当・教育支援担当)とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員(以下「担当教員」という。)を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

**第5条** 博物館の運営に関する重要事項を審議する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

**第5条の2** 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

**第6条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

**第7条** この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

**附 則**

この規程は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。

## (2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目 的)

**第1条** 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を審議することを目的とする。

(組 織)

**第2条** 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）

2 博物館学芸員養成課程委員会委員長

3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

**第3条** 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

1 博物館の予算(案)および決算(案)に関する事項

2 博物館資料の収集に関する事項

3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項

4 博物館の事業に関する事項

5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

**第4条** 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(博物館資料の収集)

**第5条** 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、南山大学人類学博物館資料評価委員会にその受け入れの可否を諮問することができる。

(事務)

**第6条** 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

(規程の改廃)

**第7条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

**第8条** この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

**附 則**

この規程は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

### (3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

#### (目 的)

**第1条** 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行う博物館資料の収集に関する事項を協議することを目的とする。

#### (組 織)

**第2条** 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名

2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (所掌事項)

**第3条** 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、その受け入れの可否を、南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）の諮問に基づき、協議する。

② 委員会は、協議の結果を速やかに運営委員会に報告する。

#### (議事運営)

**第4条** 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

#### (事 務)

**第5条** 委員会の事務は、学事第二課が担当する。

#### (規程の改廃)

**第6条** この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

#### (雑 則)

**第7条** この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

## 附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

## 附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

### (4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

**第1条** この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

**第2条** 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館—ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

**第3条** 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

**第4条** 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報や適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

**第5条** 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

**第6条** ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

**第7条** この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

## 附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2022年6月7日 印刷

2022年6月7日 発行

南山大学人類学博物館年報 2021年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227